平成30年度

「市長と語る」の記録

八王子市

は　じ　め　に

市長が地域に出向き、市政について報告するとともに、市民の皆様と膝を交えてご意見・ご提案等をお聴きする「市長と語る」は、市民と行政が協働のまちづくりを進めるための大切な機会です。

平成30年度は、５月から６月にかけて全４回実施しました。

今回は「私が考える、住みやすい・住み続けたいまちづくり」をテーマに、各会場周辺の「まちづくり」について、29 名の方々からご提言などをいただきました。

また、各会場を合わせ 331 名の皆様にご参加いただき、地域での活動内容や課題等を幅広い世代の皆様と共有することができました。あらためて感謝申し上げます。

市では、いただいた皆様のご提案等を、今後の施策推進への参考としてまいります。

目　　次

１．意見・要望等項目別件数 …… 1

２．テーマ・各会場の実績 …… 2

３．所管別内容

（1）所管別件数一覧表 …… 2

（2）所管別件名一覧表 …… 3

４．意見・要望等及び市長答弁の要旨

中央地域（八王子駅南口総合事務所） …… 7

北部・西部地域（石川市民センター） …… 14

西南部地域（横山南市民センター） …… 19

東部・東南部地域（南大沢市民センター） …… 27

５．過去の提案等取り組み状況 …… 38

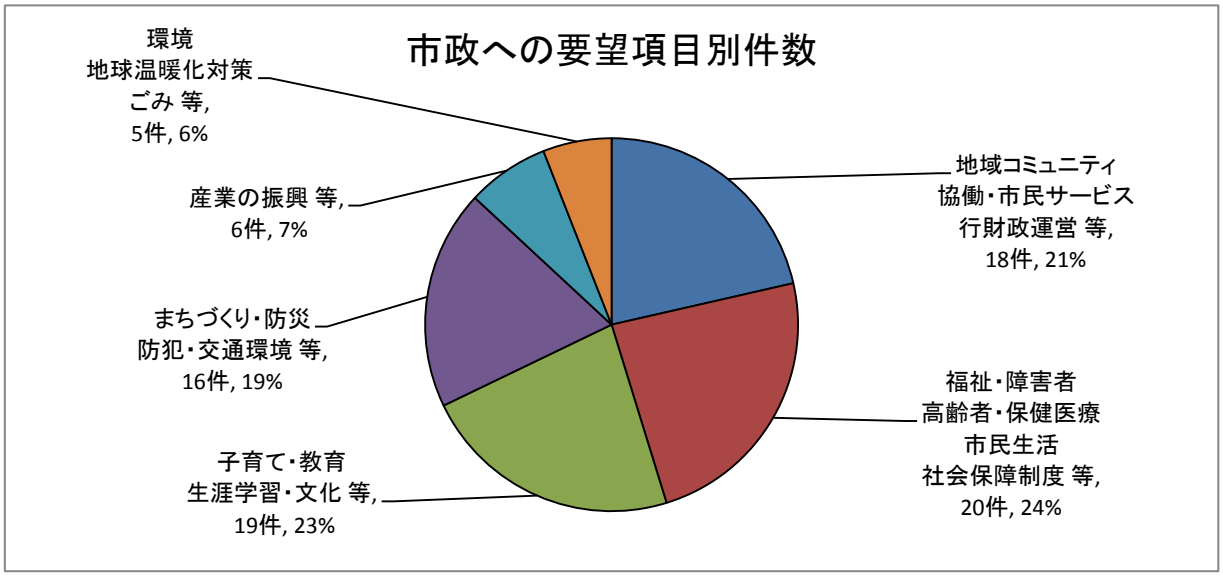
６．会場配布資料 …… 41

７．開催案内ポスター …… 44

1. 意見・要望等項目別件数

会場 / 要望項目の分野	第1回 八王子駅南口総合事務所	第2回 石川市民センター	第3回 横山南市民センター	第4回 南大沢市民センター	合計
地域コミュニティ・協働・市民サービス・行財政運営 等 （第1編 みんなで担う公共と協働のまち）	7	2	3	6	18
福祉・障害者・高齢者・保健医療 市民生活・社会保障制度 等 （第2編 健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち）	8	0	6	6	20
子育て・教育・生涯学習・文化 等 （第3編 活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち）	2	6	3	8	19
まちづくり・防災・防犯・交通環境 等 （第4編 安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち）	5	3	2	6	16
産業の振興 等 （第5編 魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち）	1	1	3	1	6
環境・地球温暖化対策・ごみ 等 （第6編 一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち）	2	0	1	2	5
合計	25	12	18	29	84

※ 分野の区分は、基本構想・基本計画「八王子ビジョン2022」の都市像による



2. テーマ・各会場の実績

開催日	会場・テーマ	地域	地区	延べ参加者数（人）	発言者数（人）	発言項目数（件）
5月26日	八王子駅南口総合事務所 「八王子のまちづくり」	中央	本庁	128	8	10
6月2日	石川市民センター 「石川地域のまちづくり」	北部 西部	加住 石川 元八王子 恩方 川口	64	7	8
6月23日	横山南市民センター 「館地域のまちづくり」	西南部	浅川 館 横山	64	7	9
6月30日	南大沢市民センター 「南大沢地域のまちづくり」	東部 東南部	由木 由木東 南大沢 由井 北野	75	7	11
			合計	331	29	38

3. 所管別内容

(1)所管別件数一覧表

部名	件数	部名	件数
都市戦略部	4	環境部	1
総合経営部	2	資源循環部	2
市民活動推進部	14	水循環部	1
生活安全部	3	都市計画部	5
市民部	1	拠点整備部	1
福祉部	7	まちなみ整備部	3
医療保険部	4	道路交通部	2
健康部	1	学校教育部	2
子ども家庭部	5	生涯学習スポーツ部	8
産業振興部	6	合計	72

※一件の発言に対し、担当が複数の所管にまたがることがあるため、発言項目数と件数が異なる。

（2）所管別件名一覧表

都市戦略部　4件

案件番号	発　言　項　目	開催日
5	八王子駅前のモニュメントの見直しと呼び込み業者の撲滅、学生の町、若者の町－八王子の再認識について	5月26日
8	ビジョン2022などの施策全体の連関について	5月26日
13	人口動向とその対策について	6月2日
37	「若者の定着」と「歩行者専用空間の活用」について	6月30日

総合経営部　2件

案件番号	発　言　項　目	開催日
8	ビジョン2022などの施策全体の連関について	5月26日
30	南大沢地域のまちづくりについて	6月30日

市民活動推進部　14件

案件番号	発　言　項　目	開催日
2	① 手話通訳設置の活用　②レジでのコミュニケーションについて	5月26日
4	高齢化の為、自治会運営の一部を外部に委託について	5月26日
5	八王子駅前のモニュメントの見直しと呼び込み業者の撲滅、学生の町、若者の町－八王子の再認識について	5月26日
6	八王子駅前のモニュメントの見直しと呼び込み業者の撲滅、学生の町、若者の町－八王子の再認識について	5月26日
9	「ゆとり・ふれあい・やさしさが実感でき、永く住み継がれる街」をめざして	5月26日
14	ボーイスカウト・ガールスカウトを通じた「本市生涯学習、社会教育活動に学園都市としての利点を」について	6月2日
20	運動教室（ボランティア）の会場確保と使用について	6月23日
23	「にほんごの会」の市民センター使用の優先使用について	6月23日
26	高齢者の輝く八王子について	6月23日
29	行政機関の文化度について	6月30日
34	子どもが身近な地域で文化体験できるまちづくりについて	6月30日
35	「多摩ニュータウンの町の人々と町を共有することで町を語れる地域作りをしていく」について	6月30日
36	「若者の定着」と「歩行者専用空間の活用」について	6月30日
38	「住みやすい町づくりのためにできること」について	6月30日

生活安全部　3件

案件番号	発　言　項　目	開催日
7	八王子駅前のモニュメントの見直しと呼び込み業者の撲滅、学生の町、若者の町－八王子の再認識について	5月26日
17	下校時のこどもの見守りについて	6月2日
38	「住みやすい町づくりのためにできること」について	6月30日

市民部

1件

案件番号	発　言　項　目	開催日
2	① 手話通訳設置の活用　②レジでのコミュニケーションについて	5月26日

福祉部

7件

案件番号	発　言　項　目	開催日
1	世代間交流八王子駅前サロンプロジェクトについて	5月26日
2	① 手話通訳設置の活用　②レジでのコミュニケーションについて	5月26日
3	食に困る人々を地域で支え合う取り組みについて	5月26日
4	高齢化の為、自治会運営の一部を外部に委託について	5月26日
26	高齢者の輝く八王子について	6月23日
27	高齢化が進む地域への流通手段の確保について	6月23日
28	高齢者の健康促進について	6月30日

医療保険部

4件

案件番号	発　言　項　目	開催日
2	① 手話通訳設置の活用　②レジでのコミュニケーションについて	5月26日
20	運動教室（ボランティア）の会場確保と使用について	6月23日
28	高齢者の健康促進について	6月30日
32	南大沢地域のまちづくりについて	6月30日

健康部

1件

案件番号	発　言　項　目	開催日
28	高齢者の健康促進について	6月30日

子ども家庭部

5件

案件番号	発　言　項　目	開催日
3	食に困る人々を地域で支え合う取り組みについて	5月26日
11	私が考える、住みやすい、住み続けたいまちづくりについて	6月2日
14	ボーイスカウト・ガールスカウトを通じた「本市生涯学習、社会教育活動に学園都市としての利点を」について	6月2日
19	子どもたちの笑顔溢れるまちについて	6月23日
34	子どもが身近な地域で文化体験できるまちづくりについて	6月30日

産業振興部

6件

案件番号	発　言　項　目	開催日
10	八王子駅、京王八王子駅周辺に人が集まる街づくりについて	5月26日
12	八王子特産高月清流米を利用した加工食品の開発による地域活性化について	6月2日
23	「にほんごの会」の市民センター使用の優先使用について	6月23日
26	高齢者の輝く八王子について	6月23日
27	高齢化が進む地域への流通手段の確保について	6月23日
36	「若者の定着」と「歩行者専用空間の活用」について	6月30日

環境部　1件

案件番号	発　言　項　目	開催日
38	「住みやすい町づくりのためにできること」について	6月30日

資源循環部　2件

案件番号	発　言　項　目	開催日
24	「にほんごの会」の市民センター使用の優先使用について	6月23日
38	「住みやすい町づくりのためにできること」について	6月30日

水循環部　1件

案件番号	発　言　項　目	開催日
9	「ゆとり・ふれあい・やさしさが実感でき、永く住み継がれる街」をめざして	5月26日

都市計画部　5件

案件番号	発　言　項　目	開催日
10	八王子駅、京王八王子駅周辺に人が集まる街づくりについて	5月26日
31	南大沢地域のまちづくりについて	6月30日
33	南大沢地域のまちづくりについて	6月30日
35	「多摩ニュータウンの町の人々と町を共有することで町を語れる地域作りをしていく」について	6月30日
37	「若者の定着」と「歩行者専用空間の活用」について	6月30日

拠点整備部　1件

案件番号	発　言　項　目	開催日
10	八王子駅、京王八王子駅周辺に人が集まる街づくりについて	5月26日

まちなみ整備部　3件

案件番号	発　言　項　目	開催日
9	「ゆとり・ふれあい・やさしさが実感でき、永く住み継がれる街」をめざして	5月26日
11	私が考える、住みやすい、住み続けたいまちづくりについて	6月2日
21	下寺田西緑地整備と街路樹の植え替えについて	6月23日

道路交通部　2件

案件番号	発　言　項　目	開催日
22	下寺田西緑地整備と街路樹の植え替えについて	6月23日
37	「若者の定着」と「歩行者専用空間の活用」について	6月30日

学校教育部　2件

案件番号	発　言　項　目	開催日
17	下校時のこどもの見守りについて	6月2日
34	子どもが身近な地域で文化体験できるまちづくりについて	6月30日

生涯学習スポーツ部

8件

案件番号	発　言　項　目	開催日
15	年齢に応じたスポーツ環境づくりとスポーツ推進委員の確保策について	6月2日
16	年齢に応じたスポーツ環境づくりとスポーツ推進委員の確保策について	6月2日
18	「伝統文化を後世に残していくため」について	6月2日
19	子どもたちの笑顔溢れるまちについて	6月23日
25	寺田町日南田（ひなた）遺跡ジョッキ形土器について	6月23日
28	高齢者の健康促進について	6月30日
29	行政機関の文化度について	6月30日
34	子どもが身近な地域で文化体験できるまちづくりについて	6月30日

4. 意見･要望等及び市長答弁の要旨

◎メインテーマ：「私が考える、住みやすい・住み続けたいまちづくり」

テーマ「八王子のまちづくり」

【中央地域】 平成30年５月26日（八王子駅南口総合事務所）

案件番号	意見・要望等要旨　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
1	**【世代間交流八王子駅前サロンプロジェクトについて】** 世代間交流八王子駅前サロンプロジェクトは平成28年６月から始まり、高齢者の交流の場の仕組みづくりを目的に民生委員とボランティアと、多摩大学のゼミ生が連携し、八王子市地域包括支援（高齢者あんしん相談）センター旭町の協力のもと、「駅前という特徴を活かした高齢者のためのサロン」の運営をしている。 学生の役割は、サロンでの司会、クイズ等の話題提供、参加者との交流、次回開催内容のチラシやサロン周知のパンフレット作成等である。 また、地域高齢者の生活実態や、ニーズの調査とそれに基づくサロンの改善案を提案している。 参加者からは「知り合いが増えてうれしい」、「色々な人と楽しくしゃべれる場があり、１か月に１度の楽しみ」といった声を多くいただいている。 （北島　美希・小野澤　瞳　様）	現在、市に登録されているサロンは157か所ある。その多くは、郊外で実施されており、八王子駅周辺でのサロン活動は数が少なく、駅前でのサロンは希少価値が高い。 利用される高齢者の皆さん、民生委員や高齢者あんしん相談センターの職員、学生の皆さん、それぞれが互いに刺激や活力を受けることができ、とても良い世代間交流になっている。 学生の皆さんと民生委員の方や高齢者あんしん相談センターの職員とが連携できるような活動が八王子の駅前だけでなく、ほかの圏域などへ広がっていくことを期待している。 ぜひ皆さんの卒業後もこの活動を継承していっていただきたい。	福　祉　部

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
2	**【①手話通訳設置の活用　②レジでのコミュニケーションについて】** ①　東浅川、南大沢、大横保健福祉センターには、手話通訳ができる職員が常駐し、聴覚障害者が利用しやすく、安心して行けるようになっている。 　南大沢保健福祉センターに隣接している事務所や市施設へも手話通訳ができる職員が行くことができるようにしてもらいたい。 ②　手話通訳設置が必要と思われるところの調査を行った結果、八王子駅南口総合事務所にも、手話通訳設置を求める声が多く寄せられている。 　また、スーパーのレジに、コミュニケーションボードを配置することで聴覚障害者への対応を図ってもらいたい。加えて、外国の客が来た時にも対応できるように、英語などの表記を添えると良いと思う。 （是枝　修正　様）	①　保健福祉センターの手話通訳ができる職員は、センターの窓口受付も担っているが、他の市施設で手話通訳の必要があれば、その職員を派遣するなど、できる限りの対応をしていく。 　また、手話通訳が常駐していない八王子駅南口総合事務所や、他の市民部事務所においても、必要な確認事項が確実に伝えられるコミュニケーションボードの活用に向け準備する。 ②　スーパーのレジなどでのコミュニケーションについては、コミュニケーションボードをはじめ、障害がある方への配慮について、引き続き事業者等への周知を行っていく。 　また、外国人市民や外国人観光客が増加する中にあって、外国人とコミュニケーションを取る上で、多言語化を進めることは重要なことと考えており、多文化共生推進プランに基づき、様々な場面で多言語化が進むよう取り組む。	市民活動推進部 市　民　部 福　祉　部 医療保険部
3	**【食に困る人々を地域で支え合う取り組みについて】** 　近年、子どもの貧困、すなわち子どもを抱える世帯の貧困が社会問題となっている。 　地域活動していると、見えない・見せない貧困の中でも、子ども、若者、高齢者の食に窮する場面に出会う。 　市内でも複数のフードバンクが活動しているが、まだまだ、フードバンク、フードドライブというものが認知されていない。 　市としてフードドライブに取り組んでもらえないか。 （金子　紗知子　様）	八王子市地域福祉計画では、市民力を生かした支え合いのまちづくりを目標に掲げており、現在あるフードバンクや市民活動などの地域資源を生かし、市民同士の支え合いを推進したいと考えている。 　市民活動が活発な本市では、市民や法人によるフードバンク団体への支援活動も活発である。団体主導による活動の中の役割分担として、市では様々な機会を通じてこうした活動の情報発信を行うとともに、フードバンク団体に対しては、他団体との連携の橋渡しを図る一方、支援を必要とする方々を相互につないでいく役割を担うなど、フードドライブを含めたフードバンク活動を応援していきたいと考えている。	福　祉　部 子ども家庭部

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
4	**【高齢化の為、自治会運営の一部を外部に委託について】** うちの団地は非常に超高齢化している。掃除が月に１度あるが、52 世帯の内 30 世帯（60%）しか掃除に来ない。80 歳以上が 10 人位いて、５年もすると活動している人の半分以上が 80 歳代になる。 自治会運営の一部を協力してもらえる人がほしい。団塊の世代は非常に経験も豊富で、人数も多いので、少ない報酬で手伝ってもらえると助かる。 （江端　克之　様）	市では、定年退職後等における生きがいの充実や、社会参加の機会拡大、活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とし、八王子市シルバー人材センターを支援している。センターでは市内在住で 60 歳以上の健康で働く意欲のある会員の皆さんが活躍している。 自治会ごとにセンターへ業務を依頼することは可能なので、ご相談いただければと思う。 東京都の「地域の底力発展事業助成制度」や、町会で事務員を雇い、集会所に常駐させて町会事務を行うなど、団塊世代の人材活用を含めた事例についても、協働推進課にご相談をしていただければと思う。	市民活動推進部 福　祉　部
5	**【八王子駅前のモニュメントの見直しと呼び込み業者の撲滅、学生の町、若者の町ー八王子の再認識について】** 「私が考える八王子」ということで、八王子市には多くの学生がいるので、学生に八王子の観光大使になってもらい、八王子の良さをインターネット・ＳＮＳで出身の都道府県に発信してもらうと良い。 （横山　大生　様）	シティプロモーションの取り組みとして、本市の持つ多彩な魅力を、特設サイトや魅力発信パンフレット等を通じ幅広く発信している。 また、大学コンソーシアム八王子や八王子学生委員会が組織され、数多く開催される学生イベントは、学園都市八王子の魅力を広くＰＲするコンテンツの役割を担っている。 さらに、大学コンソーシアム八王子により「学生ＣＭコンテスト」や「学生企画補助金制度」など、学生が地域に出向いて活動し、本市の持つ新たな魅力を発見するきっかけとなる取り組みが進められている。 八王子で学び活動する一人ひとりの学生から、日頃感じ得た八王子の魅力を、ＳＮＳ等を通じ幅広く発信し、八王子を盛り上げていただきたい。 今年度実施するブランドメッセージの作成など、若い皆さんが自ら八王子に関わって一緒に盛り上げていくという機運をつくる取り組みを、今後も推進していく。	都市戦略部 市民活動推進部

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
6	**【八王子駅前のモニュメントの見直しと呼び込み業者の撲滅、学生の町、若者の町ー八王子の再認識について】** 八王子駅の駅前に石造りのモニュメントがある。内容的にはかなり古いものもあって、面白みにかけると思うので、そろそろ内容を変えてほしい。 （横山　大生　様）	モニュメントについては、昔、「彫刻のまちづくり」ということで、市内あちこちに彫刻を設置した。いろいろなご意見があるとは思うが、当時の皆さんの想いがあって彫刻を設置した経緯があるので、それを踏まえながら、検討していきたいと思う。	市民活動推進部
7	**【八王子駅前のモニュメントの見直しと呼び込み業者の撲滅、学生の町、若者の町ー八王子の再認識について】** 駅前の繁華街の呼び込みは見るに耐えない。イメージダウンは市の利益ダウンになっていると思う。これを徹底的に無くすように、早期に働いてもらいたい。 （横山　大生　様）	駅前の呼び込みについては、平成 26 年度に「八王子市生活の安全・安心に関する条例」の改正を行い、生活安全・安心指導員による違反者への指導・警告に加えて、違反者を雇用する店舗への指導・警告、また、市民指導員及び警察官と合同でパトロールを実施し、客引き・スカウト行為などの指導の強化を図っている。 関係団体と連携を図り、健全な賑わいのあるまちであり続けていくよう、パトロールや指導などの活動を継続して実施していく。	生活安全部

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
8	**【ビジョン２０２２などの施策全体の連関について】** 「八王子ビジョン 2022」をホームページで見ると多彩な施策を行っており、本当に素晴らしいと思う反面、バラバラ感があると思う。 今度、ブランドイメージをつくるということは賛成だ。ただ、それは具体的なものであって、ビジョン 2022 の６つの様々な領域が共通に、これだったら皆が同じイメージを持てると言える必要がある。 駅周辺開発にいろいろ取り組んでいると思うが、甲州街道が何となく無個性なまちになったと思う。隠れた名店が多く散在している中、私たちが考えたキャッチフレーズが、「多摩マダムの表参道」。何か「道」自体を売り出すような方向で、地域の人や外から来る人みんなが参画するようなまちおこしや様々な道、自然も歴史も含めた道おこしというようなものができないだろうか。 （古川　嘉子　様）	施策がバラバラというご意見をいただいた。例えば道路を造るにしても、ハード的な技術所管だけでなく、福祉、安全、産業等さまざまな視点で造る必要がある。基本計画の施策を実現するための具体的な事務事業として、毎年アクションプランというものをローリングして策定している。策定には、全庁的に組織横断的な事業構築を検討するよう、常に指示をしている。 「ブランドメッセージ」の作成については、これまでの本市の取り組みを踏まえた上で、他市にはない八王子らしさ、まちの空気感、方向性を伝えていく言葉としていきたいと思っている。 行政のみならず、市民や企業・大学など様々な主体がブランドメッセージに関連付けて事業を行うことで、市の一体的なブランドイメージづくりを進めることができるようになる。 多くの市民の皆さんの思いが反映されるよう、市民の皆さんと本市職員で構成するワークショップを発足し、そのワーキングの中で魅力を出し合い、検討して、ブランドメッセージの候補を決定していく予定である。	都市戦略部 総合経営部

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
9	**【「ゆとり・ふれあい・やさしさが実感でき、永く住み継がれる街」をめざして】** 清川町では、まちづくり活動の対象や範囲をどう決めるかを最初に考え、まちづくりを実施している。 住民の意向や視点を整理するためにアンケートを行い、「ゆとり・ふれあい・やさしさが実感でき、永く住み継がれる街」を目指して取り組んでいる。 市の「地区まちづくり推進条例」のまちづくり準備会に登録して活動を始めた。一番大切なことは、住んでいる人の理解と協力をどう得るかということである。これは基本的には住民の方が多く集まれる、交流できる場づくりと、まちづくりについての情報をいかに提供していくかということ、この２点に限られると思う。情報誌を２か月に１回発行したり、景観づくりの舞台である公園、河川敷での「落ち葉焚き」、「さくら祭り」、「お月見の会」を立ち上げた。 景観づくりの実践として公園アドプトに参加し、５つの公園で花の栽培をしている。 浅川の河川については、温暖化が進む中で、水害の危険も心配している。東京都と、非常に危険だという共通認識を持った上で連携して、その整備に我々も協力して取り組んでいきたいと思う。 また、ここを河川公園として、災害のときにはすぐに防災空間になるものを関係自治会長と検討している。まとまったら、いずれ市長に提案したい。 （渡邉　常義　様）	「清川・太陽地域再生まちづくり準備会」が実施したアンケート結果を基に整理された、交流の機会づくりや賑わいづくりなど６つのまちづくりの検討テーマは、地域だけの課題ではなく、全市的な課題であると認識している。 このような課題の解決には、地域住民の関わり方や、その中での合意形成のプロセスが重要だと考える。 公園を含む浅川の河川敷の活用については、「清川・太陽地域再生まちづくり準備会」より計画をご提案いただいているが、河川管理者と協議をし、できるところから取り組むなど、河川管理者と連携して進めていく。 地域の実情を踏まえた取り組みを通じて地元町会・自治会との協働をこれまで以上に深めていただき、「ゆとり・ふれあい・やさしさが実感でき、永く住み継がれる街」の実現に向けて今後もご尽力をお願いし、地域主体のまちづくりの一つのモデルケースになることを期待している。	市民活動推進部 水循環部 まちなみ整備部

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
10	**【八王子駅、京王八王子駅周辺に人が集まる街づくりについて】** 八王子市ならではの魅力を最大限にアピールし、市民以外の方も訪れたい、遊びに来たいという興味を持ってもらうことが大事だ。 高尾山はアピールしなくても自然に人が集まる。八王子駅周辺に人を集めるには、八王子市全体ではなく八王子駅周辺にターゲットを絞り、現在、計画が進行中の医療刑務所移転計画、花街の集客施設計画、旭町・明神町地区周辺の街づくり、南口の商業施設、マルベリーブリッジ延伸工事などの計画を使わない手はない。 このことにより方向性が決まり、八王子のブランド化が図られると思うので、ＳＮＳ等により情報発信をしていけば良いと思う。 今まで八王子は東京なのに東京ではないと言われているが、自慢できる八王子にしていきたい。 （鬼島　直志　様）	平成 29 年度に「八王子市中心市街地活性化基本計画」を策定し、計画期間は平成 30 年度から 34 年度までとなっている。 事業には、中町の整備事業や旭町・明神町地区周辺まちづくり事業などが含まれ、多目的に活用可能なスペースが新たに中心市街地にできあがる。 八王子医療刑務所の移転後の跡地活用では、にぎわい・集いを促進するサードプレイスを実現するために、まずは多くの市民にしっかりと利用していただくことが重要である。 八王子市を訪れる方たちに対して、八王子をＰＲするために、観光案内所を八王子駅の北口と南口に設置している。 市民の中にも、八王子の魅力を知らない方が多いことから、ＳＮＳを活用した情報発信を行っている。今後も、八王子が魅力ある、賑わいのあるまちとなるよう、市民の皆さんと共に進めていきたい。	産業振興部 都市計画部 拠点整備部

テーマ「石川地域のまちづくり」

【北部・西部地域】　　平成 30 年６月２日（石川市民センター）

案件番号	意見・要望等要旨　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
11	**【私が考える、住みやすい、住み続けたいまちづくりについて】** 私が住むこの石川地域を、より住みやすいまち、住み続けたいと思えるまちにするには、まちの人々が地域に関心をもち、地域の風土や歴史、長所を理解することが不可欠であると考える。 私自身、登下校時に、地域の自然の豊かさを感じ、八王子のラジオ番組に参加して、地域のよさや風土、歴史を伝えることができた。 また、地域の方々と協力しながら、環境を整えることも大切だと思う。地域のクリーン活動は、まちをきれいにするだけでなく、地域の人との交流も深めることができる。 生徒会活動を通して、地域の方が住みやすい、住み続けたいと思えるまちにできるよう微力だが貢献したい。 （柴田　瑞生　様）	若い皆さんにまちを好きになってもらうことで、住み続けてもらうことにつながり、まちを愛することで、周りの人を大切にし、まちを大事にしていくことにもつながると思う。 クリーン活動を通してまちが美しくなることは、そのまちに住みたいということでも非常に大事なことであるし、引き続き活動を続けていただきたいと思う。 八王子には良いところがたくさんあり、多くの皆さんに魅力を知ってもらうため、八王子景観 100 選を昨年、選出した。 八王子には住んでいても知らない魅力がたくさんあるので、発見してもらうとともに、きれいなまちにしていただけるよう願っている。	子ども家庭部 まちなみ整備部
12	**【八王子特産高月清流米を利用した加工食品の開発による地域活性化について】** 大学のゼミでは、八王子で生産されている「高月清流米」に注目し、生産農園、製パン業者と連携して、米粉を使った米粉湯種パンを開発した。 これを八王子の特産品として宣伝、販売することにより八王子の地域活性化に貢献することを試みている。 さらに、八王子特産米から新たな米加工食品の開発を試みる予定である。 今後、具体的に事業を進めていくために、多くの地域企業や団体と連携する必要があるので、地域関連企業に協力をお願いする機会を設けてもらえないか。 （須崎　雄大　様）	大学コンソーシアム八王子では、行政と企業、大学の学生など、皆さんに参加してもらい、いろいろな形で学園都市づくりを進めている。我々も大学の持つ資源、また、学生が持っているパワーを活かしながらまちづくりを進めていこうと取り組んでいる。 皆さんの、若い柔軟な発想から生まれた様々なアイデアを、まちづくりにも活かしていただきたい。企業サイドには採算性の課題があると思うが、学生の皆さんが、色々な挑戦により経験を積み、情報を得ていく中で、この活動を実現していただきたい。	産業振興部

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
13	**【人口動向とその対策について】** 少子化ということで、出生者数が 100 万人を切ってしまう時代になった。 また、東京への一極集中化が進行するとも言われている。 八王子市の人口は、４月時点で 56 万３千人だったが、更に減ってしまうのか。 人口の変化を、的確に捉えながら行政を進めていただきたいと思う。 石川地域の人口予測と対策、八王子市の全体の今後の予測等を伺いたい。 （井上　輝久　様）	本市の人口推移予測についての長期傾向を見ると、既に自然動態については減少している。社会動態についても近いうちに減少し、出生率、純移動率によるが、人口減少は避けられないものと考えている。 その対策については、市の目指すべき方向として、 ①2060 年の人口を現在の８割を維持すること。 ②老年人口の比率を抑え、人口構造の安定化を図ること。 ③2040 年の出生率の目標を 1.8（国民希望水準）とすること。 ④若年層の流出を現在の 1/4 にすること。 この４点を目標に施策の展開を推進する。	都市戦略部
14	**【ボーイスカウト・ガールスカウトを通じた「本市生涯学習、社会教育活動に学園都市としての利点を」について】** 日本では少子高齢化により、スカウト運動に参加する子どもたちの減少に歯止めがかからない状況がある。 子供たちにスカウト活動を指導する成人指導者も高齢化し、なり手がいなくなると、子どもの入団も減っていくことになると考える。 八王子市は、全国的に誇れる学園都市であり、このすばらしい人的資源を活用しない手はないと考えている。 学生の中には、スカウト運動に興味のある学生が数多くいるのではないかと思う。 青少年の健全育成に関するゼミや学科で学ぶ学生に、単位の認定をコンソーシアムとしてできないものか。 大学生と小・中学生では、年齢差があまりないので、気楽にコミュニケーションがとれ、楽しい活動ができると思う。 （佐藤　研治　様）	市では、昨年策定した「はちおうじ学園都市ビジョン」において、学生の地域活動を支援し、各事業においても、学生ボランティアの参加を積極的に促進している。 スカウト活動をすすめていくうえで、人材の確保が難しいとのことだが、広報「はちおうじ」等を活用し、募集を行っていくほか、大学コンソーシアム八王子を通じて、青少年教育活動であるスカウト運動について周知していくことも可能と考えている。 今後も、地域や学生にとってメリットのある事業や活動は、積極的に周知を図り、連携した取り組みを続けていきたいと考えている。	市民活動推進部 子ども家庭部

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
15	**【年齢に応じたスポーツ環境づくりとスポーツ推進委員の確保策について】** 近年子どもたちの体力低下や高齢者の健康寿命を上げることについて、スポーツ・運動や地域のコミュニティが重要視されてきている。 スポーツ推進委員としてここ５年間は、ボッチャという、障害者スポーツを推進しているが、コートがなく、毎回、コートをつくらなければならないため、体育館施設にこのようなコートを設けることができないか。 （川上　博士　様）	平成 26 年３月に策定したスポーツ施策の基本となる「八王子市スポーツ推進計画」において、「子ども」、「成人」、「高齢者」、「障害者」の４つの区分のライフステージ等に応じたスポーツの推進を掲げている。 子どもについては、様々なスポーツに触れ、体力、運動能力を身につけ、生涯を通じてスポーツに親しむ基礎づくりを、高齢者については、健康寿命を少しでも伸ばすため、軽い運動を推奨するとともに、安全に継続してスポーツができる環境づくりを行っている。 障害者については、障害のある方がスポーツを行う効果として、健康維持、様々な事柄に自信をつける、スポーツを通じ、地域の人との交流を深め、社会参加につながるという効果が挙げられる。ボッチャについては、都立特別支援学校や障害者団体に協力をいただき、体験を行うなど障害者への理解を深めながら、普及に努めている。 今後もライフステージ等に応じてスポーツに携わっていただけるよう、スポーツをする機会、観る機会、する人を支援する機会の確保、創出に努めていきたい。	生涯学習スポーツ部

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
16	**【年齢に応じたスポーツ環境づくりとスポーツ推進委員の確保策について】** スポーツ推進委員の定員は 49 名だが、実数は 35 名である。 56 万人の中核市として、推進委員が 35 名の人員で足りているのか、足りていないのかはわからないが、定員の 49 名はほしいと思っている。 地域から推薦され、委嘱されるということもあり、なかなか人が増えないが、行政としてもスポーツ推進委員を増やし、定員を確保してもらいたい。 （川上　博士　様）	八王子市は人口 56 万人で、市域も広いことから、地域のスポーツリーダーとして活動していただくスポーツ推進委員の人数は、それなりに必要になると考える。 現在の定数は規則で 49 名となっており、人口、市域の広さから考えれば、35 名で十分な人数とは言い難い。 現在、地元のスポーツ関連団体から委員の推薦をいただき、委嘱をしているが、この仕組みや委員となられた方の負担を見直し、参加しやすい環境づくりが必要ではないかと考えている。 委員を務める皆さんの意見も聞き、できるだけ早く対応したい。	生涯学習スポーツ部
17	**【下校時のこどもの見守りについて】** 新潟県で小学生の児童が近隣住民に殺害される痛ましい事件が発生したが、このような事件はどこでも起こり得ると思う。 石川町会では、散歩を日課にしている方たちに、下校の時間に合わせて散歩がてらの見守りを呼びかけている。 人目に付きにくいような場所への防犯カメラの設置のほか、防災無線を利用し子どもたちの下校時間に合わせた見守りの呼びかけをお願いしたい。 （守屋　清美　様）	防犯カメラは犯罪の抑止力になると考え、小・中学校の通学路や校門に設置している。また、トイレのある公園を中心に昨年度は 60 台、今年度も 60 台を設置して、犯罪を防ぐ取り組みをしている。 防災行政無線での呼びかけについては、日常的にメッセージを流してしまうと、いざというときに危機感を持てないこともあり、小学校低学年の下校時刻には、本市出身の松任谷由美さんの「守ってあげたい」、夕方には、子どもたちへの帰宅の呼びかけのために「夕焼け小焼け」のメロディーのみ流している。 市民の皆さんには、メロディーが流れた際に、子どもたちに目を向けていただくよう、市の広報をはじめ、防災情報メールや出前講座などで周知を図っていく。 また、青色回転灯付防犯パトロールカーが市内全域を毎日巡回し、その際に子どもの見守りを呼びかけているので、より効果的に広報を行っていく。そのほか、不審者情報メールの配信や、小・中学校の長期休業期間には、地域の皆さんや市職員による見守り活動の実施についての意識啓発なども行っている。	生活安全部 学校教育部

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
18	**【「伝統文化を後世に残していくため」について】** 伝統文化を後世に残していくために、龍頭（りゅうとう）の舞保存会としては、若い人材の確保が課題となっている。 ＳＮＳを活用したり、パンフレットを作成し、町会で回覧したり、町会報で募集をかけたりしているが、なかなか応募者がいないのが現状である。 今回、八王子市で「日本遺産」の認定をめざして準備が開始されたと聞いている。この日本遺産の認定がされれば、地元の方々に、我が町の宝として龍頭の舞をもっと認識してもらうことができ、舞をやってみたい若者が増えるきっかけにもなり、住み続けたいまちづくりに貢献できると思う。 （内田　好延　様）	八王子には、龍頭の舞を含め９つの獅子舞が市の無形民俗文化財として指定されている。 このようなすばらしい伝統芸能がいくつも残されていることを、市民の方に大いに知っていただきたいと思っている。 市では、「伝統文化ふれあい事業」など、獅子舞継承の支援を行っており、今後も、獅子舞の理解や継承に力を注ぎたい。 日本遺産の認定には「歴史文化基本構想」を策定することが一つの条件となっている。当然、八王子の遺産として獅子舞も一つの伝統芸能としてしっかりと残していかなければならないと思う。 伝統芸能を継承することは、どこの地域も子どもの数が減ってきて厳しいところがあるが、皆さんが継続して活動ができるよう、支援策の充実を図っていきたい。	生涯学習スポーツ部

テーマ「館地域のまちづくり」

【西南部地域】　　平成30年６月23日（横山南市民センター）

案件番号	意見・要望等要旨　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
19	【子どもたちの笑顔溢れるまちについて】 住みやすいまちづくりとは「子どもたちの笑顔溢れるまち」であると考えている。今の子どもたちには、遊びたくても遊べる場所がないことが課題のひとつではないかと感じている。 子どもと椚田運動場を利用しているが、ここは第１、第３日曜日が開放日となっており、それ以外は少年サッカーチームが利用している。第１、第３日曜日となっている開放日を、毎週日曜日にしてほしい。 土曜日などは一般の登録者やサッカーチームの練習に使い、日曜日は一般の方への開放日とすれば、子どもたちの笑顔溢れるまちに繋がるのではないかと思う。 （渡辺　高行　様）	本市を含め他の自治体でも、ボール遊びができる公園が少ない現状がある。 椚田運動場は、いつでも、だれでも自由に利用できる公園とは違い、安全安心にご利用いただくため、事前予約という方法による貸切利用を原則とし、利用できる競技、利用時間の設定など、一定のルールを設けて利用していただいている運動施設である。 しかし、他の運動施設にはない、一歩進んだ取り組みとして、第１と第３の日曜日には、地域の皆さんが自由に使うことのできる地域開放を行っている。 また、エスフォルタアリーナ八王子でもフットサルコート３面の運動広場を平日と大会のない土曜・日曜日の日中に無料開放している。 できるだけ子どもたちが遊べる方法について、今以上に遊べる場所が提供できる取り組みを進めていく。	生涯学習スポーツ部 子ども家庭部

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
20	**【運動教室（ボランティア）の会場確保と使用について】** 介護予防運動の指導員として、地域でボランティア活動をしているが、みなみ野の地域には市民センターがない。 片柳学園のビルを間借りした市民センターの分館があり、そこを借りて活動しているが、最近会場がとりにくく、年間計画の実施が難しい状況である。 できれば、みなみ野の地域に市民センターをつくってほしいが、それが無理なら学校の施設、体育館等をできる範囲で使用できるようにしてほしい。 また、昨年の４月下旬頃から、使用のための準備時間が、利用開始時間である午前９時の 10 分前から３分前に変更された。他の市民センターでは 10 分前から準備ができると聞いているので、他と同様に 10 分前には準備ができるようお願いしたい。 （川﨑　ミチ子　様）	市民センターは多くの団体、個人の皆さんにご利用いただいており、どこも希望どおりの会場確保ができないという課題がある。 そして、公平な利用を心掛けなければならないので、どこを特別にということはできない。 市民センター以外の施設として、市民集会所や保健福祉センターなどがある。保健福祉センターの体育室や会議室にも限りがあり、使用は抽選となるが、60 歳以上の高齢者登録団体の場合は、３か月前から優先予約ができるので利用してほしい。 また、地域の方が中心になって、町会会館等で健康づくりサポーターによる介護予防運動を実施しており、多くの方に利用していただいている。できるだけ多くの地域の皆さんが活動しやすいよう、環境整備にも取り組んでいきたい。 次に、市民センターの利用開始時間は午前９時で、これは受付や準備・片付け・退室までの全ての時間が含まれている。 皆さんが午前９時からスムーズに利用できるよう、職員が５～10 分前に各会場の鍵を開けて廻っているので、９時からのご利用をお願いしたい。	市民活動推進部 医療保険部

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
21	**【下寺田西緑地整備と街路樹の植え替えについて】** 下寺田西緑地は今から８年くらい前に施設と土地が市に寄付された。施設については、高齢者あんしん相談センターとして有効に利用されているが、雑木林はそのままで、年々、木が大きくなり、近所でも迷惑になっている。 民地境の数メートルは、年に２回公園課で草刈りをしているが、それ以外は一切手つかずの状態で、平成 24 年から数回にわたり、整備をしてほしいと要望を出しているが、一向に手を付ける気配がない。 子どもたちが自由にボール遊びをしたり、高齢者がグラウンドゴルフなどを行う場所として、有効利用できればと思う。 （澤田　和夫　様）	下寺田西緑地については、緑の保全を主たる目的とし、人の出入りを想定していないため、散策路などを整備せずに閉鎖して、公園課が管理している。 現在は、管理のための車両が入れる程度の園路整備や、一部の樹木を伐採したり、民地との境の草刈りを実施したり、緑地管理に努めている。 大規模な樹木の伐採や造成等を伴わない都市緑地としての機能をしっかり残しながら、緑地における広場、園路の整備やその維持管理が可能かどうか、地元の皆さんと調整を図りながら検討している。 今年度は、どのような活用ができるかを検討するための資料として、測量を実施する予定である。	まちなみ整備部

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
22	**【下寺田西緑地整備と街路樹の植え替えについて】** めじろ台グリーンヒル通りは両側にケヤキが街路樹として植えられている。町会からの何回にも渡る要望に対し、市長からは適正な管理をするということであったが、以下のような問題が発生している。 ① 庭や畑への日照障害になる。 ② 庭や畑へ根が入る。 ③ 宅地へ若葉が開く時のつぼみの殻が吹き込んで困る。座敷まで入ってくる。雨どいがつまる。 ④ 歩道に大量の落葉が落ち、掃除が負担である。 ⑤ 開花時に花が家の中まで飛散する。 ⑥ 根が張り歩道を持ち上げて、歩いているとつまずく。実際転んで怪我した人もいる。 ⑦ 幹が太くなり、自分の自宅から車で道路に出る時に見通しが悪くて危険だ。 近所の人の話だと、最初、ケヤキを植えるとき、いずれ植え替えるという条件で植えたと聞いている。ぜひ、植え替えていただきたい。 （澤田　和夫　様）	街路樹の効果には景観や環境、交通安全、防災といった機能がある。 また、めじろ台グリーンヒル通りのケヤキ並木については、道路築造以来、市民の皆さんに広く親しまれ、残してほしいとの声もいただいていることから、今後も、市民の皆さんの財産として大切に守っていきたいと考えている。 引き続き、地域の皆さんにもご協力をいただきながら、剪定の時期や方法等を工夫し、道路清掃、根上がりの補修などの維持管理に努めていきたい。 植え替えは今のところ考えていないが、地域の強い意向があれば検討していきたいと思う。	道路交通部

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
23	**【「にほんごの会」の市民センター使用の優先使用について】** 私は外国人に日本語の学習指導のボランティア活動を行っているが、最近、日本語学習の教室が足りなくなってきたと感じる。 生涯学習センターで取り組んだ日本語学習教室は、当初３教室で実施していたのが、２教室になり、毎週やっていたのが月３回になるなど、半減してしまった。 別のグループは市民センターを利用しているが、他の利用者もいるため、場所が取りにくく、年間通しての実施は難しくなっている。 学校を使ったりする例もあるみたいだが、簡単には貸してもらえないので、できるだけ空いている部屋を探すなり、斡旋するなりのご尽力をお願いしたい。 また、市が学園都市センター内の部屋を国際交流団体に使用させてくれているが、非常に評判が良いことから、奪い合いになっている状況である。ぜひとも使える部屋の数を増やしてほしい。 （大橋　勝彦　様）	現在市では、学園都市センター内に国際交流コーナーを設置し、「地球市民プラザ会議室」を多文化共生の推進につながる活動を行っている団体に活用していただいている。 「八王子にほんごの会」は、「地球市民プラザ会議室」を中心に、市内数か所の施設で活動されており、また、市の生涯学習センターの「外国人のための日本語教室」にも協力いただいている。 市民センターはより多くの方に希望どおりご利用いただきたいが、数が限られている現状がある。優先予約については、公共施設の公平な利用の観点や、市の空き施設の使用も含め実現は難しい。 予約の競合などによりご迷惑をお掛けするがご理解願いたい。現在も一部使用されているようだが、市民集会所など、ほかの市の貸出し施設や、民間の施設についても紹介していくなど、市としてもできる限り支援していきたいと思う。	市民活動推進部 産業振興部

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
24	**【「にほんごの会」の市民センター使用の優先使用について】** 八王子は環境保護行政で非常に高く評価され、国際協力機構（ＪＩＣＡ）からミクロネシア連邦での事業協力を依頼され、既に活動しているようだが、広報などで活動報告がされていない。八王子の誇れる仕事だと思うので、市民に広報してもらいたいと思う。 （大橋　勝彦　様）	ミクロネシア連邦チューク州のごみ問題改善の取り組み事業については、ＪＩＣＡ側の予算で、創価大学と連携しながら現地で指導を行っている。過去には中古の清掃車を送り、市の職員も青年海外協力隊として行っている。 現地には焼却施設がなく、全て埋め立てている。リサイクルといった文化もないので、ごみの収集業務やごみ減量に向けた指導をするために、今回事業提案を行ったところ、採択された。 現在、創価大と市が定期的にミクロネシアに行って指導を行っているが、本格的な取り組みが始まったばかりで、まだ市民の皆さんに報告する段階ではないが、ある程度進展したところで、広報等で報告したい。	資源循環部
25	**【寺田町日南田（ひなた）遺跡ジョッキ形土器について】** 日南田遺跡のジョッキ形土器や神谷原遺跡の深鉢（ふかばち）土器が出土した場所に案内板、写真、発掘されたときの状況がわかるものを設置したり、学校、市民センター等に展示してほしい。 また、川口の宮田遺跡から出た「子を抱く土偶」、堀之内で発掘された「人面装飾の有孔鍔付土器」、糸魚川から産出され八王子で見つかった翡翠のペンダント、堀之内の復元住居などの縄文文化を紹介していただき、１人でも多くの方や子どもたちに伝えられたらと思う。 町田には日本でも一番古いと言われている土器があり、それも八王子に展示していただけたらと思う。 （武藤　真啓　様）	日南田遺跡のジョッキ形土器と神谷原遺跡の深鉢は、縄文時代中期の土器になり、現在、郷土資料館で展示している。 本市には、1,000か所以上の遺跡があり、さまざまな土器等の遺物が出土していて、その多様性から考えると特定の遺物のみの看板設置は非常に難しいと考える。 今後も、これらの土器等を郷土資料館に展示することで、本物を見ていただき、歴史を知っていただけるよう、本市の考古資料について周知を図っていく。 また、市史編さんの中で「新・八王子市史」資料編として、市民の皆さんにもわかりやすく原始・古代をオールカラーで紹介している。 市民の皆さんに広く知っていただき、理解していただくことが郷土資料館の果たす役割のひとつと考えているので、ご提案いただいた町田市にある資料も含め、特別展などで展示できるよう検討を始めていく。	生涯学習スポーツ部

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
26	【高齢者の輝く八王子について】 八王子のまちをもっと住みやすく、楽しいまちにするには、高齢者世代の活躍の場の拡大と高齢者世代と若者世代の繋がりを大切にしていけば良いと思う。 高齢者世代の活躍の場の拡大としては、高齢者の方の再雇用をもう少し積極的に行えば良いと思う。 また、私がボランティアに参加した際に、高齢者の方々とたくさんお話をしたが、若い人と一緒にしゃべると元気が出ると言ってもらい、私も良い経験をしたと思った。 中高生の同世代にもこういう経験をしてもらいたいので、高齢者世代と若い世代が繋がりを持てるような場を増やしてもらいたい。 （峯尾　了理　様）	地域社会の活力を維持するためには、豊富な知識や経験を持つ高齢者の皆さんの力が必要であり、その熟練した能力などを発揮できる環境整備が必要と考える。 高齢者の皆さんの活躍の場の一つであるシルバー人材センターでは、豊かな経験・知識・能力を活かしていろいろな仕事をしていただき、仕事を通して、自身の生きがいを高めるとともに、地域社会の活力あるまちづくりに貢献することを目指している。 次に、高齢者世代と若者世代の関わりについて進めていくためには、様々な団体等との協力、協働が重要となる。中でも町会・自治会は、防災を始め、お祭りや地域清掃など様々な活動に取り組んでおり、高齢の方と若者が互いを尊重して、共通の目的のもと活動を進めていくことで、相互理解が進み、地域の活性化に繋がっていくと思う。 市としても、学生ボランティアに関する情報等を広報はちおうじや市のホームページに掲載するとともに、大学コンソーシアム八王子等を通じて各大学等にも発信し、若者世代と高齢者世代との交流の機会を広げていきたい。	市民活動推進部 福　祉　部 産業振興部

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
27	**【高齢化が進む地域への流通手段の確保について】** 私は法政大学カフェ部というボランティアサークルに参加しており、グリーンヒル寺田団地でコミュニティカフェを開いている。月２回、コーヒーやパンケーキを出して、話をしながら、地域交流の一環になればと思い、活動を行っている。 私は、住みやすいまちとは、安心、快適ということであると思う。それには買い物ができる場所があるということが、何より大事なことだと思う。 昨年 12 月頃には団地内にあったスーパーマーケットがなくなり、住民の皆さんは、買い物するのに遠出をしなければならなくなり、その場所で活動している自分自身も困ったと思うことがあった。 現在は週に１回１時間程度、移動販売車が来て商品を販売しているが、それでも不便であると感じている。 実際に高齢化や、過疎化が進む山の上の団地等で、スーパーがなくなったことを他のボランティアサークルからも聞いているが、そのような場所に市として何らかの形で流通手段の確保をする方法はないものか。 （千原　健太　様）	グリーンヒル寺田団地のスーパーが撤退するという話が出た５年ほど前から、市も住民の皆さんやＵＲ都市機構にご意見を伺い、存続の道を探ってきたが、残念ながら撤退することとなった。ＵＲは他の企業への打診を行っているが、採算の面から思うような結果になっておらず、新たな商店の誘致にも結びついてないのが現状だ。 現在、市では住民の皆さんの買い物事情を考えて、事業者に移動販売という形でグリーンヒル寺田団地に行ってもらっているが、他の地域からの要望もあるため、週１回となっている。 また、市では高齢者が住みなれた地域で安心して生活できるよう、住民の皆さんやＵＲ都市機構、法政大学の皆さんと連携し、地域の多様な日常生活の困りごとを解決するための「助け合いの地域づくり」に取り組んでいる。 具体的には、住民が主体となることが条件であるが、買い物支援を含む高齢者の生活支援を行う団体を立ち上げるための相談や、活動の運営にかかる経費を補助する制度である。 カフェ部の活動の中で、インターネットを活用した買い物の方法を高齢者に教えるようなイベントができないかなど、多方面からのアイディアを出し合いながら、今後、市と住民の皆さんとＵＲ都市機構が連携しながら、住みやすいまちづくりについて考えていきたい。	福祉部 産業振興部

テーマ「南大沢地域のまちづくり」

【東部・東南部地域】　　平成 30 年６月 30 日（南大沢市民センター）

案件番号	意見・要望等要旨　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
28	【高齢者の健康促進について】 転んで右手首を骨折したことをきっかけに、足が衰えてきたと思い、それまでは一人で歩いたりしていたが、なかなか続かないので、スポーツクラブに入会した。お金はかかるが、行かなければならないという気持ちになる。65 歳～70 歳の方が屋外で個々に運動をしようと思ってもなかなか続かないと思う。 八王子市にもスポーツクラブがいくつかある。そこで運動したり、会話をしたりすることで笑顔になり、食べ物もおいしく感じるようになった。皆さんここに来るのが楽しくなったと言っている。私も通い始めて１年半だが、歩き方が全然違ってきた。 今、医療費が凄くかかっていると思うが、その分をスポーツクラブなどに行く高齢者に少し補助していただければ、大勢の方が参加できるため、健康維持につながり、笑顔に過ごせるのではないかと思う。 （渡部　八千代　様）	平成 26 年３月に策定したスポーツ施策の基本となる「八王子市スポーツ推進計画」において、「子ども」、「成人」、「高齢者」、「障害者」の４つの区分のライフステージ等に応じた施策の事業展開を図っている。高齢者の方々には健康寿命を少しでも伸ばすため、軽運動を推奨するとともに、安全に継続してスポーツができる環境づくりを実施している。 施策には、「スポーツを活用した地域づくりと八王子の魅力発信」があり、スポーツを通じて地域コミュニティの醸成に寄与することも考えている。 また、小・中学校を活動拠点とし、地元地域に密着して活動している総合型地域スポーツクラブに対し、地元住民を対象に開催するスポーツイベントに補助金を交付したり、スポーツをする場の環境整備として、使用器具の修繕などの支援を行っている。 また、高齢期の皆さんの健康づくりや、介護予防を推進するには、身近な場所で仲間と一緒にスポーツや運動を継続できる環境が大切である。本市では、ご発言いただいたような金銭的な補助はないものの、各保健福祉センターでは、60 歳以上の市民の皆さんが、無料で利用できるものや、介護予防教室、各種健康講座、健康相談なども行っている。 また、地域で健康づくり・食育活動を広めるボランティア「健康づくりサポーター」を養成し、地域の町会・自治会館などに派遣して、介護予防のための運動などを地域の皆さんが主体となって継続できるよう支援している。併せて、医療機関や東京都柔道整復師会に委託し、介護保険の要支援認定者等を対象に、短期集中予防サー	福祉部 医療保険部 健康部 生涯学習スポーツ部

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
		ビスを試行的に実施している。引き続き、医療機関等で行う「元気はつらつトレーニング教室」や、９月からはスポーツクラブ等を活用した、ウォーキング指導を含む転倒予防教室、認知機能低下予防教室を実施する予定なので、参加いただければと思う。	

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
29	【行政機関の文化度について】 昨年、市制100周年記念事業で、八王子出身の作家さんの作品や、八王子が舞台になっている話を集めて、南大沢で活動する朗読のグループのメンバーで「まちよみフェスタ in はちおうじ」という公演を、南大沢文化会館交流ホールで無料開催した。 市の後援名義はもらったが、経費は出演者が半年以上毎月積み立てて捻出したり、稽古場の確保も大変で、多摩市や調布市にまで稽古へ出かけた。公費の援助や優遇措置など一切ないにも関わらず、公演終了後に会計報告を義務づけられた。また、ご案内したにも関わらず、市役所の方には来場していただけなかったようだ。 「読書のまち八王子」、「いつでも、どこでも、本はともだち」を掲げて、読書活動推進のための環境整備に取り組んでいるようだが、市の対応にはがっかりだった。 朗読や演劇は本に親しむきっかけをつくるひとつのツールになると思う。作品に触れることで本に興味がわくし、話を想像することで感性が豊かになると小学校の先生が話していた。 他の市や区では、行政主催の朗読イベントを開催しているところもあり、活動するグループに市や区で発表の場を提供している。文化意識を高めるためにも安い料金で使える施設を充実してほしい。若者が多く集まる南大沢地域だからこそ、朗読、演劇、映画等の文化活動を、市としてもっと応援してほしい。 （矢内　佑奈　様）	市では、主催、共催、後援など、さまざまな事業形態があるなかで、「後援」とは、「皆さんが主催する事業について趣旨に賛同し、事業への関与が名義の使用の承認に限る」としている。これはチラシ等で「八王子市」等の名義使用の許可を行うことで、一定の公益性を認め、自主的な活動を後押しするという趣旨になっている。また、市民の皆さんの自主的な文化芸術活動については、チラシの配布など、可能な限り協力させていただいている。 次に、施設についてだが、「ホール」の機能を有する施設となると、相応の定員数を備えた施設になってしまうが、本市では、南大沢文化会館をはじめ、芸術文化会館、生涯学習センター、市民センターなど市民の方々の日頃の練習の成果を発表する場所がある。生涯学習センター３館には、定員 70 名の視聴覚室などの学習室、市民センターには定員 30 名の音楽室などがあり、朗読の発表の場として、小規模なホールの代わりにご利用いただくことができる。使用料はホールに比べると低廉な設定になっているので、朗読会の参加者数に応じて利用を検討してほしい。 朗読会はとても良い取り組みなので、市民センター等の施設で朗読会を継続していただきたい。	市民活動推進部 生涯学習スポーツ部

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
30	**【南大沢地域のまちづくりについて】** 八王子は東京都で一番大きな市で、人口が 57 万人もいる。こういう大きなまちで、市長が一生懸命やっているのはわかるが、それだけでは難しいことがたくさんあり、市民がもう少し意識を持っていかなければならないと思う。 ただし、多くの市民からの意見を舵取りするのは難しいと思う。市長をはじめ、職員がどうやって意見を束ねていくのか気になる。 せっかく「八王子ビジョン 2022」という立派なビジョンがあるわけだから、実現できるものにする必要があると思う。 （平野　雄司　様）	市ではまちづくりの主役である市民の皆さんが、より一層市政に参加しやすい環境を整備するための「八王子市市民参加条例」を制定している。市民の皆さんの考えを、パブリックコメントや各種アンケート調査、審議会、ワークショップなど様々な機会を通して把握し、市政運営の参考としている。 また、平成 28 年度からは、より多様なご意見を市政に反映することを目的に、住民登録されている方の中から無作為に選んだ 1,000 人の方に、市民委員への就任を勧める制度を始めた。 今後も、皆さんの貴重な意見を伺うために、市の政策の立案、実施、評価を行う際には、政策等の情報をわかりやすく提供し、市民の皆さんが市政に参加しやすい環境整備を進めていく。	総合経営部
31	**【南大沢地域のまちづくりについて】** 私は由木地区の歴史、文化、民俗に興味を持っている。 南大沢は山を削ってできたまちで、子どもたちに新しいふるさとをつくってあげて、継承するのが役目と思っている。去年たまたま高校生と話したら、「ここにはふるさと意識は全くない。」と言っていた。 住み育った人や子どもたちに、ふるさと意識をもってもらい、住み続け、新しいまちづくりに貢献してもらいたい。 （平野　雄司　様）	多摩ニュータウンは、現在、若い世代も住んでいるが、今後、急激な少子高齢化の進行や、大規模住宅団地の老朽化などの課題が想定されている。 そのようなことから、多摩ニュータウン地域の皆さんや大学など、多様な主体と共有するまちづくり方針の検討を進めている。この方針を多様な主体が共有し、連携してまちづくりに取り組み、未来の担い手である子どもたちがいきいきと育ち、まちに愛着を持ち続けられるようなまちづくりを進めていきたい。	都市計画部

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
32	**【南大沢地域のまちづくりについて】** 八王子には大きな病院がたくさんあるが、由木地区から離れている。高齢者が多いので、総合病院を造ってほしい。 （平野　雄司　様）	市内の医療機関の数は、人口の増加とともに増えてはいるものの、現状の医療制度では、医療機関の開業は自由開業制なので、地域によりばらつきが生じる。 市では、東京医科大学八王子医療センターと東海大学医学部付属八王子病院を市の中核病院として誘致し、地域医療体制の充実を図った。 また、救急体制についても、休日・夜間を問わず、受け入れが可能な病院が、市内では中核病院を含め９病院。町田・多摩・日野・稲城を加えた南多摩医療圏では 20 病院となり、南大沢周辺には、多摩南部地域病院や、野猿峠脳神経外科病院、多摩丘陵病院などがある。 東京都は、高齢化の進展にあわせ、病床数を増やしていく考えなので、市としても地域医療体制の充実に向け、東京都と連携しながら取り組んでいく。	医療保険部
33	**【南大沢地域のまちづくりについて】** 南北を結ぶ道路として野猿街道と 16 号があるが、つなぎがあまり良くない。もう一つ道路をつくるなり、今の道路を拡げるなり、何か方法を考えていただき、できれば「八王子ビジョン 2022」の計画の中に加えてほしい。 （平野　雄司　様）	多摩ニュータウンの一部として発展してきた南大沢地域は、都市計画道路の整備が全て済んでいる。また、公共交通も南大沢駅を起点に、住宅・団地等を通る形で路線バスが走っており、利便性が高い地域である。 しかし、南大沢地域には高齢化が進行している地域もあるので、地域の状況に応じた交通サービスの確保をしっかりと進めていきたい。	都市計画部

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
34	**【子どもが身近な地域で文化体験できるまちづくりについて】** 子どもの文化活動を地域にコーディネートしている NPO 法人多摩子ども劇場で活動している。 子どもたちの成長には、遊びを含めた文化体験をする場が必要。それは、様々な価値観との出会い、お互いの違いを認め合える場だと思う。この文化活動を通して、子どもたちが地域の人たちと出会う場をつくり、人との繋がりをつくりたいと考えている。 小さな遊び会から、季節の行事、鑑賞会、アーティストを呼んでのワークショップなどを行っているが、こういった体験は親の興味や関心、家庭の経済状況によって違いがあり、全く体験しないで過ごす子どもたちも増えている。参加した子どもたちからは「楽しかった。またやりたい。」、先生たちからは「日常とは違う子どもたちを見ることができた。」との声をいただいている。 このような体験が八王子市内の全ての子どもたちに届けられるシステムが検討できないかと考えている。 私たちだけではなく、小学校の周辺地域の人達にも参加してもらい、子どもたちの生活圏でもある小学校区での人とのつながりづくりにも繋がっていくと考えている。検討してもらえれば嬉しい。 （市川　ひとみ　様）	市では、平成 28 年に「八王子市文化芸術ビジョン」、平成 29 年に「八王子市文化芸術振興条例」を策定し、文化芸術が市民の皆さんにもっと身近になるよう事業を展開している。中でも、子どもたちが文化芸術に親しむ機会は重要であり、未来に向けて文化芸術の担い手を「そだてる」ことを重点施策としている。 子どもたちが健やかに育ち、豊かな人生を歩む基礎づくりの一つとして、文化や芸術を体験することは、何事にも代えがたい経験になると思う。そして、地域の人とのつながりは、地域の子どもたちや、子育て中の家族を見守り、子育てしやすいまちづくりを地域ぐるみで推進していくうえで必要なことである。 市は「ふれあいこどもまつり」の実行委員会に参加し、芸術鑑賞や工作などができる体験型イベントの提供、公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団と連携し、劇団四季による「こころの劇場」への、市内小学６年生の無料招待、小・中学校にアーティストが出向き、子どもたちが質の高い文化芸術に触れる機会の提供、赤ちゃんから大人まで、気軽に参加できるクラシックコンサート「赤ちゃんチャカチャカコンサート」を実施している。さらに学校ごとに地域の特性を活かした取り組みとして、地域の皆さんやボランティアの参画を得て、子どもたちに安全で安心な居場所を提供する「放課後子ども教室」を実施している。 提案のあった文化体験システムの取り組みについて、八王子市子供会育成団体連絡協議会や放課後子ども教室の運営団体に紹介することで、未来を担う子どもたちに、文化や芸術に触れる機会を提供することができるのではないかと考える。 また、市内の全中学校では「音楽鑑賞教	市民活動推進部 子ども家庭部 学校教育部 生涯学習スポーツ部

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
		室」や狂言を観る「伝統芸能鑑賞教室」を実施している。 　それらの取り組みに加え、身近な地域で文化体験ができるような機会を設けることは、自分の住む地域への愛着を深めることができる取り組みであると考える。 　今後、小学校では、学習内容や授業時数が増加するため、新しい取り組みをすぐに実施することは難しい状況だが、いただいたご意見を参考に、子どもたちが文化を体験できる取り組みについて推進していきたい。	

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
35	**【「多摩ニュータウンの町の人々と町を共有することで町を語れる地域作りをしていく」について】** 30 年前、ニュータウン開発により、南大沢地区ができた。当時、障害者の作業所がなく、また、行政として取り組む姿勢がなかったため、父が土地を提供して施設が造られた。 まちづくりの中では、市民と市が思いを共有することがすごく大事だと思う。長池公園はＵＲの職員と市民が関わってでき、堀之内寺沢里山公園も以前は無く、住宅地だったが、ＵＲと一緒に造った。市長が都議の時代には、八王子で初めて里山保全地域指定として東京都の環境局から網かけしてもらい、自然が残るようになった。 私自身は新規就農者支援を行っている。このごろは農園に保育園が遊びに来てくれたり、多摩の特別養護老人ホームのデイサービスをうちの畑でやっている。そのようにみんなで仲良くまちを形成している。 また、毎月第３水曜日にレストランを貸し切り、由木地区の活動家が集まり「由栗（ゆっくり）カフェ」を開催したり、大栗川河川敷で３万本のキャンドルを灯すキャンドルリバーを行っており、人と集える場づくりで、まちを支えたい。 市に頼るということではないが、市と仲良くやっていきたいと思っているので、情報を積極的に得るような職員であってほしい。 （鈴木　亨　様）	八王子には地域特性があり、由木地域はニュータウン開発により大きく変ぼうし、公園も多く、農地も残っている。 市は地域特性に応じたまちづくりを進めている。地域ごとに職員（担当者）をおいて、まちに関する議論に職員が加わり、まちづくりを進めていくことが大切だと思う。今後できる限り職員を派遣し、地域の声を聞きながら、まちづくりを進めていきたい。 この由木地区は最後に八王子市に合併し、50 年あまりが経過し、これまで町会・自治会をはじめとする地域の皆さんが課題解決のために様々な取り組みをしてきた。このような地域活動を支援するとともに、市民力、地域力を活かした住民主体のまちづくりを推進し、魅力あふれる、語り継がれるまちとしていきたい。	市民活動推進部 都 市 計 画 部

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
36	**【「若者の定着」と「歩行者専用空間の活用」について】** 先日、南大沢市民センターで、「多摩ニュータウンまちづくりワークショップ」を行った。 八王子市は大学が多いが、若者は就職と同時に都心へ出て行ってしまうという意見が多かった。しかし、若者を定着させる手段として、大企業を八王子に引っ張るのは、現実的ではないと考える。 そこで、現状の取り組みとして、大学コンソーシアム八王子における補助事業など若い人材を育てる政策があるが、今後そういった人材育成のための取り組みをより拡充させていく可能性についてお聞きしたい。 （田中　翔太　様）	本市では、21 の大学等に約 10 万人の学生が学んでいる。卒業後は、就職や帰郷で八王子に留まらず離れる方が多いことは、学園都市八王子の大きな課題である。 平成 29 年に学園都市づくりの指針となる「はちおうじ学園都市ビジョン」を策定し、「学生活動支援」、「学生の就職支援」を基本方針に掲げ、学生の地域活動の支援や市内企業の周知などに取り組んでいる。 本市の学園都市づくりは、大学コンソーシアム八王子を中心に進めており、「学生企画事業補助金制度」や「学生発表会」など、学生の皆さんが、市民や企業と活動することで、地域は学びの場となり、人材育成の貴重な機会になっている。 このような事業を通じて、多くの学生の皆さんが地域の人材や資源と関わり、八王子の持つ多彩な魅力を発見することで、本市が「働く」、あるいは「暮らす」場になるよう目指している。 今後も、学生の皆さんが、地域と連携・協力のもとに行う活動を充実させていくほか、地域企業と連携したキャリア教育の実施や、魅力ある多くの市内企業について、若い方たちが知る機会を、継続的に提供し、地域企業と学生とのマッチング支援など、若い方の市内定着に向け、産・学・公が連携した取り組みを、拡充させていきたい。	市民活動推進部 産業振興部

案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
37	**【「若者の定着」と「歩行者専用空間の活用」について】** 先日行ったワークショップのなかで、緑豊かな歩行者空間という空間資源がありながら、活用されていないという意見が多かった。 歩行者空間を活用する企画として、野外のオープンカフェを開くプロジェクトチームを学生主体で立ち上げ、徐々に動きだしている。ゆくゆくは、南大沢の良質な空間資源を用いたカフェ文化を根付かせていければと思っている。 しかし、道路占用許可の手続きや費用がネックとなり、企画の段階で前に進みにくい状態が続いた。せっかくの空間資源を使いたくても活用しにくい状態では宝の持ち腐れだと思う。 「公共空間の賑わいを創出する公益性の高い事業」に対して、道路占用許可の簡略化や占用にかかる費用の減免等について、今後、市として検討していく予定があるのかお聞きしたい。 （田中　翔太　様）	地域の方々が主体となって行う、まちづくりのための活動を推進していくことは、市の基本計画に掲げられている。 あくまでも、道路は一般の方々が通行するための場所で、一定の施設などを一時的に設けて占用する場合でも、通行等を妨げないようにする必要がある。 また、道路は市民の方々のための公共物であり、特に路上販売での利用については、公平性・公共性・公益性や、地域の合意形成などに留意する必要がある。占用申請ではそうした点を満たしているか審査するため、手続きに沿って申請していただき、道路占用料徴収条例に基づく占用料をお支払いしていただく必要がある。 ただ、地域の方々の行政参加を推進していく観点から、道路の占用制度の緩和を図り、都市の道路空間を活用したビジネスチャンスを創出し、その収益還元を道路占用料に充てる、官民連携による道路の整備、管理を進めている。まずは担当課に相談してほしい。 様々な意見を踏まえ、今後、庁内のプロジェクトチームや関連所管において、道路や公園等も含めた公共用地が「市の賑わい」や「市民の憩いの場」として活用されるよう、あり方について検討していきたい。 若い方たちの地域活動を積極的に支援し、まちの活性化につなげるとともに、地域活動を通じて、ぜひ八王子のまちの魅力を知っていただきたいと思う。	都市戦略部 都市計画部 道路交通部

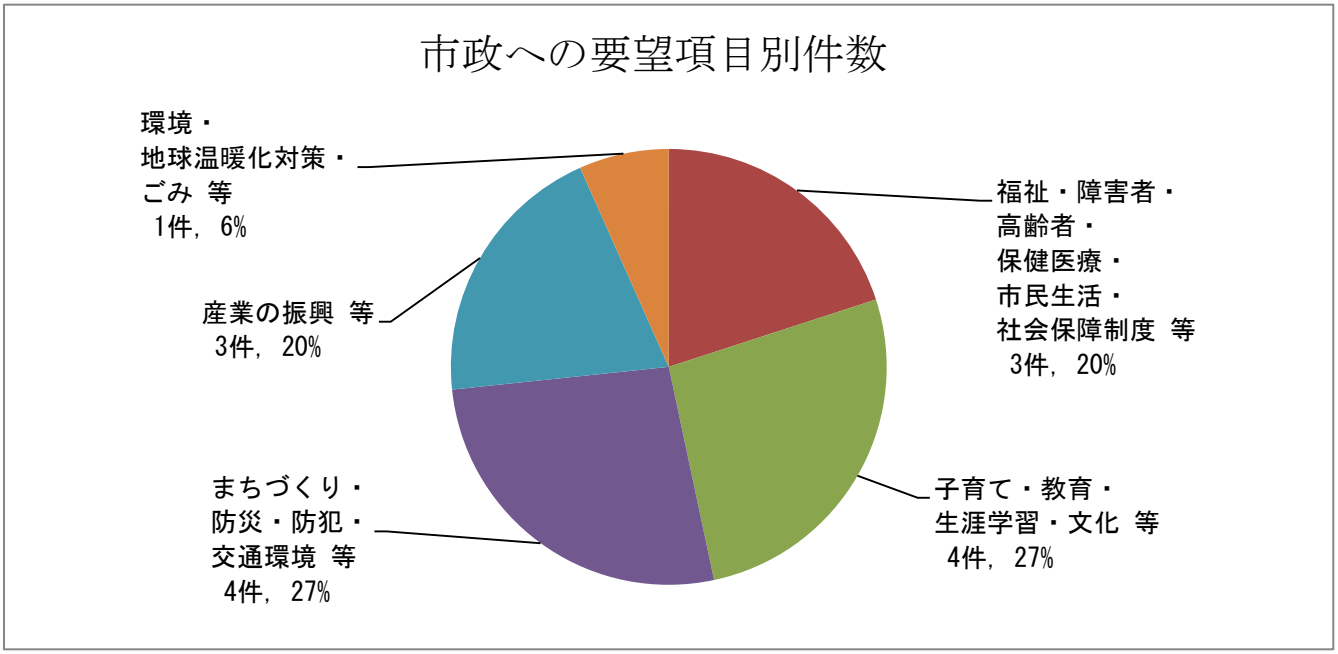
案件番号	意見・要望等要旨　　（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
38	**【「住みやすい町づくりのためにできること」について】** 若者や子どもから、高齢者まで全ての人が快適に暮らせるまちづくりのために、自分ができることは何か、身近なところから考えてみた。 以前、公園やマンションの植え込みに投げ捨てられたごみを、急いでいたこともあり、そのままにしてしまった。すると翌日の朝、近所に住む高齢の方が散乱したごみを片づけている姿を見て、自分を情けなく思った。そのことがきっかけで、もっと地域の美化活動を盛んに行ったら良いのではないかと強く感じた。 中学のボランティア活動は学校周辺の美化活動に限られているので、それをまち全体規模のイベントとして行うことができれば、軽い気持ちでポイ捨てをする人の意識を変えることができると思う。美化活動は様々な世代の人たちとの交流や、単に環境保全だけでなく、まち全体が繋がり、一人ひとりがまちの状況に気づくきっかけになると思う。 たった一人の力では、大きな事はできないが、身近な取り組みから、市民一人ひとりの意識が同じ方向を向き、お互いを思いやることによって、より良い「八王子のまち」をつくることができると信じている。 （羽田　優月　様）	市では、毎年５月の最終日曜日に「みんなの町の清掃デー」、そして９月の第１日曜日に「みんなの川の清掃デー」を全地域で実施している。これは、町会・自治会、学生、事業者など、様々な団体の協力により、捨てられたごみの清掃活動を行うことで、環境美化への意識の高まりと、地域に暮らす人のコミュニティ活動を推進することを目的に実施している。 豊かな自然を守っていくためには、国や市が、率先して進めていくことはもちろんだが、里山保全活動などの環境保全に取り組む「協働プロジェクト」への参加を通して、環境に対する意識の高まりだけでなく、地域の人たちがつながる機会になることも期待している。 また、防犯面で、ごみが多く捨てられたり、落書きが頻繁に行われたりする場所をそのままの状態にしておくと、更に犯罪が発生する恐れがあるため、警察や地域の皆さんと協力して、落書きを消す活動を実施している。 今後も、より良いまちづくりに向け、地域活動に積極的に取り組んでいただき、身近な町会・自治会の美化活動をはじめ、夏祭りのボランティアなど、様々な活動に参加して、その経験を友人、同級生、学校で広げてほしい。 羽田さんのような、未来を担う若い世代の方々の、このような活動が、市内のあちこちに広がれば、より良い「八王子のまち」につながっていくと思う。	市民活動推進部 生活安全部 環境部 資源循環部

5. 過去の提案等取り組み状況

平成 29 年度「市長と語る」の提案等取り組み状況

開催実績

開　催　日	会場・メインテーマ	延べ 参加者数 （人）	発言者数 （人）	発言 項目数 （件）
５月 27 日	八王子駅南口総合事務所 「にぎわいのあるまちづくり ～これからの 100 年に向けて～」	141	10	15



次ページから、平成 29 年度の「市長と語る」でいただいたご意見・ご提案とその後の取り組み状況の一例をご紹介します。

＜意見＞　**「街の活性化」について**

子安町では医療刑務所跡地開発でのにぎわいが期待されているが、何年先になるか分からない。高齢者、弱者にやさしい、暮らしやすいまちづくりをお願いします。

（西川　恒夫　様）

≪市長発言（当日）≫

子安町には八王子医療刑務所の移転後用地という大きな課題がある。駅に近接する、市にとって大事な場所なので、市民の皆さんに、気軽に集い、交流していただく場にしたいと考えている。

【その後の対応】

現在、活用計画の実現に向け、集いの拠点施設となる導入機能などの具体化に向けた検討を行っている。

30 年度は、パブリックコメント等の市民参加を実施しながら、整備基本計画を策定。

31 年度以降、国からの用地取得手続きや事業化に向けた施設運営検討や事業者公募準備を進めていく予定。

＜意見＞　「次世代の八王子のまちづくりに託して」について

狭間にあるエスフォルタアリーナやリニューアルした富士森体育館を活用してスポーツの活性化に力を入れることにより、さらにまちづくりに寄与できれば市民の意識が高まり、必ず八王子ににぎやかさが戻ると思う。

（石橋　亨　様）

≪市長発言（当日）≫

エスフォルタアリーナ八王子は、国際大会や全国大会規模のスポーツイベントを開催できる多摩地域最大級の体育館のため、イベントを開催することで多くの人が集まり、にぎわいを創出することができると考える。

大きな大会を通じて地域全体の活性化にもつなげていきたい。

【その後の対応】

エスフォルタアリーナ八王子を活用したイベントによるにぎわいの創出については、平成29年度に続き30年度にもクライミングワールドカップ（ボルダリング）を開催するほか、全国規模の各種競技大会の開催を予定している。

６．会場配布資料

平成 30 年度予算　～「八王子ビジョン 2022」の６つの都市像の実現に向けて～

平成30年度予算は、「夢と希望がもてるまち」の実現をめざし、次の１００年を担う子ども関連施策の事業を重点的に予算化しています。すべての中学生に温かい給食を提供するための給食センターの整備など安心して子育てができ、豊かな心を育む学びができる環境づくりを進めます。また、市制１００周年記念事業として昨年開催した「スポーツ推進フォーラム」における中学生からの提言を受け、オリンピアンなどによるスポーツ体験イベントを実施します。

このほか、多様な地域資源や交通利便性を活かした、中心市街地活性化基本計画に基づく整備、川口物流拠点の整備など、新たな魅力を創造するまちづくりに取り組みます。

平成 30 年度予算の概要

予算総額	3,986 億円	（対前年度比－2.3%）
うち一般会計予算額	2,009 億円	（対前年度比＋1.9%）
30 年度末基金（貯金）残高	234 億円	（対前年度比－10.1%）
30 年度末市債（借金）残高	1,979 億円	（対前年度比－1.0%）

「八王子ビジョン 2022」の都市像の実現に向けて（主なものを紹介　新：新規、充：充実を図る事業）

都市像１：みんなで担う公共と協働のまち

- **町会・自治会活動の支援（充）…3億257万円**
  町会・自治会が行う集会施設の整備や公衆街路灯の設置などに対して補助を行います。また、地域コミュニティの活性化を推進するための条例制定に向けて準備を進めます。
- **都市の魅力の創造・発信（充）…649万円**
  本市のめざす都市イメージを表現するブランドメッセージやロゴマークの制作を行うとともに、シティプロモーションの全体戦略を策定します。
- **政策立案機能の充実（充）…844万円**
  人口減少・少子高齢社会の到来や地方分権の進展を踏まえ、より戦略的なデータ活用と中長期的な政策立案を行うため、統計分析ができるシステムを導入します。

都市像２：健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち

- **認知症高齢者グループホームの利用者負担軽減（新）…8,371万円**
  認知症により在宅での生活が困難な方が、家庭的な環境で共同生活を送る認知症高齢者グループホームを対象に、低所得者の利用者負担を軽減するための助成を開始します。
- **八王子版ネウボラの充実（充）…8億5,551万円**
  安心して妊娠、出産、子育てができるしくみづくりのため、助産師が家庭を訪問して行う産後ケアや、新生児聴覚検査の受診率100パーセント達成に向けた取り組みなどを行います。
- **その他の事業**
  胃内視鏡検査の導入など（充）…7億6,327万円　介護人材の確保・定着・育成（充）…1,713万円　高次脳機能障害者支援（新）…410万円　など

都市像３：活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち

- **給食センターの整備（新）…8億3,900万円**
  すべての中学生に温かい給食を提供し、食育を推進するため、給食センターを整備します。
- **保育施設の整備促進（充）…13億6,713万円**
  待機児童を解消し、安全な保育環境を確保するため、民間保育所などが行う施設整備に対して補助を行います。
- **その他の事業**
  いずみの森小中学校整備…14億3,575万円　スクール・サポート・スタッフ、部活動指導員の配置（新）　…1億2,840万円　富士森公園陸上競技場改修（充）　…5億2,335万円　など

都市像４：安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち

- **八王子駅北口駅前広場の改善…2億51万円**
  2020年3月の供用開始に向け、マルベリーブリッジの西放射線ユーロードへの延伸工事に着手します。
- **旭町・明神町地区周辺まちづくりの推進…1億621万円**
  都が実施する産業交流拠点の整備とあわせ、旭町街区と明神町街区との一体的なまちづくりを推進します。
- **川口物流拠点整備の推進（新）　…9億6,000万円**
  川口物流拠点の整備に向け、土地区画整理を行う組合に対し、事業に関する技術指導や公共施設の整備などに対する助成金の交付を行います。
- **その他の事業**
  住宅セーフティネットの促進（充）…1,244万円、総合防災ガイドブックの作成（新）…1,500万円　など

都市像５：魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

- **MICE（マイス）の推進（充）…4,196万円**
  本市の魅力ある資源を活用したMICE誘致戦略を推進します。なお、平成30年度は「大相撲八王子場所」や「IFSCボルダリングワールドカップ八王子2018」などのイベントを誘致しました。
  ※MICE：多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称
- **農業環境の整備（充）…9,346万円**
  環境に配慮した都市型農業を推進するため、環境保全型の農業用資材購入費や防災兼用農業用井戸の整備費などに対して補助を行います。
- **その他の事業**
  中心市街地の活性化…1,483万円　外国人観光客の誘致…534万円　など

都市像６：一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち

- **不燃残渣（ざんさ）の資源化（充）…327万円**
  循環型社会の実現のため、手選別が困難な微小なガラスや陶磁器などを資源化することで、埋立処分量ゼロを達成します。
- **剪定枝資源化モデル事業（新）…129万円**
  さらなる資源化の推進のため、これまで焼却処理を行っていた剪定枝をボイラー燃料やたい肥として再利用するモデル事業を開始します。
- **その他の事業**
  戸吹清掃工場延命化対策…27億8,917万円　環境美化推進…338万円　など

市内6地域別の主な事業

《西部地域》

◆恩方東学童保育所整備　8，437万円

◆川口土地区画整理　　9億6，000万円
　組合施行土地区画整理事業助成金

◆都市計画道路3･4･61号線の整備　1億74万円

◆北西部幹線道路（2工区）の整備　7億7，369万円

◆泉町団地の建替　4億1，418万円

◆給食センターの整備
　叶谷町市有地（他1地域1施設）　8億3，900万円

◆恩方市民センター地区図書室の図書館化
　2，268万円

《北部地域》

◆民間保育所施設整備補助金
　わらべうつき台保育園分園　1億4，661万円

◆戸吹清掃工場延命化対策　27億8，917万円

◆中央自動車道八王子インターチェンジ北地区周辺の基盤整備　1，000万円

◆宇津木土地区画整理　6億1，528万円

◆滝ガ原運動場再整備検討　300万円

《中央地域》

◆文化芸術の振興　1，990万円
　いちょうホールリノベーション計画方針策定

◆民間保育所施設整備補助金4園
　多摩文化保育園、愛光大和田保育園、
　愛光大和田保育園分園、桑都保育園　6億2，496万円

◆小規模保育所施設整備補助金2園
　こばと保育園、（仮称）本庁管内小規模保育所　6，300万円

◆八王子駅南口集いの拠点整備　1，030万円

◆中野中央土地区画整理　3億2，833万円

◆中野西土地区画整理　3億9，585万円

◆都市計画道路3･4･54号線（暁町）の整備
　3億757万円

◆明神町中央公園の整備　443万円

◆暁公園（他2地域2公園）トイレ整備
　7，592万円

◆いずみの森小中学校整備　14億3，575万円

◆富士森公園陸上競技場改修　5億2，335万円

◆富士森公園野球場改修　4，536万円

うち中心市街地で
実施する主な事業

〈中心市街地全体での事業〉

◆空き店舗改修費補助金　250万円

◆中心市街地魅力づくり支援補助金　250万円

◆中心市街地おもてなし通信環境（Wi-Fi）の運用　288万円

〈八王子駅北口周辺の整備〉
◆マルベリーブリッジの西側延伸　1億9，251万円

◆無電柱化整備（富士見通り）　9，200万円

◆市道八王子159号線道路改良工事　1，624万円

◆西放射線ユーロード（横山町エリア）景観舗装等整備工事
　1億3，245万円

〈八王子駅南口周辺の整備〉
◆無電柱化整備（市道八王子1393･1323号線）　7，680万円

◆八王子駅南口周辺まちづくりの推進　2，778万円
　八王子駅南口自動車回転広場の整備

〈旭町・明神町地区の事業〉
◆旭町・明神町地区周辺まちづくりの推進　1億621万円
　事業化推進検討
　無電柱化整備（れんが通り）

《西南部地域》

◆民間保育所施設整備補助金
　長房南保育園　1億8，224万円

◆新館清掃工場の建設　1，543万円

◆高尾山参道周辺地区屋外広告物地域ルール策定
　336万円

◆高尾駅北口地区屋外広告物景観適正化更新促進事業補助金　560万円

◆裏高尾地区の環境整備　5，947万円

◆高尾駅北口駅前広場及び南北自由通路等の整備
　1億1，923万円

◆万葉公園（他2地域2公園）トイレ整備　7，592万円

◆国史跡八王子城跡整備活用　300万円
　案内看板設置

《東南部地域》

◆児童発達支援センター整備　すぎな愛育園分園内
　2，470万円

◆民間保育所施設整備補助金
　（仮称）由井管内保育園　2億912万円

◆小規模保育所施設整備補助金
　（仮称）東京ゆりかご幼稚園小規模保育所　1億4，001万円

◆北野地区土地活用基礎調査　514万円

◆長沼柿の木坂公園の整備　227万円

◆片倉城跡公園の整備　1億3，514万円

《東部地域》

◆文化芸術の振興　3，974万円
　南大沢文化会館舞台設備更新工事

◆多摩都市モノレールの整備促進　176万円

◆多摩ニュータウンの再生検討　616万円
　まちづくり方針策定

◆大塚公園（他2地域2公園）トイレ整備　7，592万円

◆給食センターの整備
　南大沢三丁目市有地（他1地域1施設）
　8億3，900万円

７．開催案内ポスター

平成30年度

市長と語る

協働のまちづくりに向けて、市民の皆さんと市長が直接語り合う対話集会です。
日頃の地域活動等をとおして考える「まちづくり」についてお聞かせください。
平成 30 年３月に改定した市の基本構想・基本計画「八王子ビジョン 2022」についてもご説明します。

テーマ

「私が考える、住みやすい・住み続けたいまちづくり」

下記地域のまちづくりについて考えます

5/26（土） 八王子駅南口総合事務所 19:00-20:30 八王子のまちづくり	**6/2（土）** 石川市民センター 14:30-16:00 石川地域のまちづくり
6/23（土） 横山南市民センター 14:30-16:00 館地域のまちづくり	**6/30（土）** 南大沢市民センター 14:30-16:00 南大沢地域のまちづくり

※開催時間が異なる会場がありますので、ご注意ください。

◆発言を希望される方は、5/26・6/2 開催分は 5/14（月）まで、6/23・6/30 開催分は 6/4（月）までにご提出ください。裏面の発言申込書をご利用の場合は、郵送または FAX でご提出ください。
ホームページ（http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisei/001/002/005/007/p014146.html）からもご提出いただけます。

◆各会場とも託児・手話通訳・要約筆記を行います。　◆入場無料です。

【お問い合わせ】〒192-8501 八王子市元本郷町３－２４－１
八王子市 総合経営部 広聴課 ☎ 620－7411（直通）/ FAX 620－7322

平成30年度「市長と語る」の記録
平成30年９月

発行：八王子市　総合経営部　広聴課
〒192-8501 八王子市元本郷町３-24-１
電話 042(620)7411（直通）
FAX　042(620)7322